

学校教育目標

- ☆学ぶ力のある子 【知育】
- ☆心の豊かな子 【徳育】
- ☆たくましく生きる子 【体育】

あけとの子

活力に満ち さわやかで 心なごむ学校

深谷市立明戸小学校

平成30年2月号

発行 平成30年2月1日



節分を迎えて



深谷市立明戸小学校長 横田 茂男

大寒から節分までの期間は、一年で最も寒い季節だと言われています。そして、今年は真冬としても全国的に厳しい寒さが続いています。

1月22日(月)の午後から降り積もった雪への対応では、翌朝、多くの保護者や地域の皆様に、通学路の確保等でお骨折りをいただきました。お陰様で、事故もなく子供たちは安全に登校することができました。ありがとうございます。

さて、もうすぐ節分です。季節を分けるということで、昔は4回あったわけですが、今は冬と春を分ける立春の前日だけが残っています。ご家庭では豆まきを行いますか。豆を年齢よりも一つ多く(年齢の数だけ)食べると、その年は病気をしないとされたものです。ヒイラギいわしの習慣や恵方巻を食べる習慣がある地域があったりもします。私は子供の頃、家の中で豆まきをした後、父親と近くの氏神様まで豆まきに行ったことをよく覚えています。固くなった雪の上を星空を眺めながら歩いたこともありました。家に戻ると、「今年もいい年がとれた。」と、父親から声をかけられたことを記憶しています。

国語の教材で、心優しい鬼と子どもの交流を描いた「おにたのぼうし」を学習した方もおられるのではないのでしょうか。

行事の多くは簡素化されたり失われていく傾向にあります。行事を行わなくても明日は来ます。ですが、行事には行う理由があり、子供たちに伝えていくことも大切なことだと考えます。特別な日ということで、気持ちを一新することもできます。今年はどうしようかと迷っているのでしたら、是非、行っていただきたいと思います。

1月の行事から

書きぞめ制作会 1月9日

始業式後に実施しました。

大きなサイズの紙に書く機会はそう多くはありません。できれば、一冬に100枚は書きたいところです。千枚以上練習する選手もいるとのことです。



さて、筆は何年もの期間使い続けることができます。髪と同じで、シャンプーの後、リンスをかけて陰干しすると長持ちすると聞いたことがあります。真偽はわかりませんが、書きぞめは、物を大切にすることを考える機会にもなります。

P T A 資源回収 1月20日



今年度2回目の資源回収を実施しました。

環境委員の方々が、事前の準備を丁寧に行ってくくださったお陰で、回収作業はスムーズに進められました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

収益金は、児童に還元されるよう活用させていただきます。この他、2022年に実施予定の、開校150周年記念事業のための積み立て金にも充てさせていただきます。

不審者対応避難訓練 1月18日

当日の訓練は、以下のような流れで進みました。

- ① 来校者に職員が対応していたところ、来校者が玄関を暴言を吐きながら玄関を上がるうとする。
(「不審者対応マニュアル」に従っての対応を開始)
- ② 不審者は制止を無視して校舎1階へ侵入。
- ③ 緊急放送にて全校へ避難を指示。
- ④ 警察へ通報。(訓練ですが、実際に通報しています。)
- ⑤ 不審者が刃物を取り出して校舎2階へ移動。
- ⑥ 複数の職員(男子)は児童から遠ざけることを念頭に不審者を追走。
- ⑦ 不審者は、校舎3階まで上がった後、階段を降り校舎外へ。
- ⑧ 警察が到着。不審者対応を警察へ委ねる。
- ⑨ 警察が大捕物の末不審者を確保。
(写真は、明戸駐在所の上野巡査部長(背中)が不審者を取り押さえたところ)
- ⑩ 警察署からの指導講評。



児童は、速やかに避難することができました。明戸駐在所の上野巡査部長からお褒めの言葉をいただきました。

ただ、刃物を振りかざす不審者に対して、無防備な職員が対処することの難しさを実感しました。



日	曜	日課・業前	行 事 予 定		
1	木	ドリル	委員会5・6年		
2	金	運動	入学説明会		
3	土	深谷市児童生徒コンピュータ作品展(於:深谷市民文化会館)			
4	日	↓			
5	月	読書	登校指導	一斉下校	
6	火	保健集会	CRT学力検査3・4・5年	小中連携巡回相談	
7	水	運動	深緑苑との交流4年	昔遊びの会1年	
8	木	暗唱朝会	クラブ4・5・6年(3年見学)	学校保健委員会	
9	金	運動			
10	土				
11	日	建国記念の日			
12	月	休 日			
13	火	朝会	登校指導	安心ふっかつ強化週間 あいさつ運動	
14	水	運動	アルミ缶回収	保育園幼稚園小学校見学	
15	木	たてわり遊び	クラブ4・5・6年(最終)		
16	金	運動	授業参観日1・2・3年、特別支援学級		
17	土	子どもの暗唱を楽しむ会(於:深谷市民文化会館)			
18	日				
19	月	読書	キッズカーテニング教室5年		
20	火	感謝の会			
21	水	運動	登校指導		
22	木	ドリル	授業参観日4・5・6年		
23	金	運動	安全点検		
24	土				
25	日				
26	月	読書			
27	火	ドリル			
28	水	運動	登校指導	教育相談日	

子どもの暗唱を楽しむ会 17日

各小学校からの有志が、詩・古典・論語等の暗唱発表を行います。暗唱は国語力をつけるのに効果的であると言われています。また、日本語のもつ美しい響きを感じることもできます。子供の頃に覚えたことは、一生覚えていることも多いです。

12月に全児童に対して、出場希望者を募ったところ、3年生8名が名乗りを上げました。

出場する皆さんの活躍を楽しみにしています。

感謝の会 20日

学校支援地域本部やスクールガード等、多くのボランティアの皆様のご協力により、教育活動の充実が図られています。そこで、この一年にお世話になった方々をお招きし、感謝の言葉を使える会を開きます。お礼の作文の紹介の他、花のプレゼントを予定しています。

ところで、子供たちへの支援をいただける方を年間を通して募集しています。詳しくは、本校の野中までお問い合わせください

【授業時数について】

現在、本校では、来年度の授業時間数の最終確認作業に入っています。6年を例に、どのように時数を算出しているかを簡単に紹介します。法では、6年に年間980時間(1時間は45分)の授業実施を定めています。クラブや委員会はこの枠外です。

①児童が学校(校外に出る場合を含む)にいる時間を算出します。 学期末に短縮される場合や授業参観日等で6時間授業ができない場合、その分は除かれます。	⇒○1,124時間、授業の時間、児童が学校にいたことが確認できました。
②学校行事の時数を数えます。 身体測定や各種検診(保健的行事)や社会科見学や修学旅行(遠足的行事)、卒業式や始業式等(儀式的行事)、運動会(体育的行事)、6年生を送る会(児童会活動)等の行事は、教科の学習とはなりません。	⇒○行事は年間74時間です。 $1,124 - 74 = 1,050$ 1,050時間が教科学習を行える時数です。
③授業が可能なのは1,050時間ですので、余剰を計算します。 $1,050 - 980 = 70$ 70時間が余剰(余裕)の時間となります。	⇒○余剰時間が適当かを検討します。 (下欄を参照)

以上で、来年度の6年生は、法で定められている980時間を70時間上回っての授業実施が可能であることがわかりました。

ところで、インフルエンザや雪、台風等で、学級閉鎖や休校となる場合も考えなければなりません。この時数を、6時間×5日分(インフルエンザによる学級閉鎖は通常3日)=30時間と考えます。これで、余剰は70-30=40時間となる場合もあります。

さらに、例えば、理科では105時間が授業時数(標準時数)ですが、担任の考えで補充的な学習や発展的な学習(実験)を行ったりする場合は、余剰時間を活用することになります。各教科ごとに数時間を充てると、トータルで40時間程度は必要となります。

万が一、実施授業時数が980時間に満たない場合、春休み等に授業を行い、980時間をクリアしなければなりません。

